

過去から現在までの土地利用の変遷とその背景について、公的機関の地図サイトなどから資料を収集し、調べた結果を基に多面的・多角的に考察を深める。



高等学校 第1学年 地理総合「生活圏の調査と地域の展望」

■単元の目標

生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する活動を通して、課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。

■単元の概要

「なぜ駅に近い場所なのに空き地なのだろう」という学習課題に対して、過去から現在までの土地利用の変遷とその背景について、公的機関の地図サイトなどから資料を収集し考察する。さらに、自治体への聞き取り調査等を踏まえて、今後の望ましい土地利用の在り方について構想する。

■単元の指導計画（6時間）

第1小単元（1時）

「なぜ駅に近い場所なのに空き地なのか」
・対象土地の過去から現在までにおける土地利用の変遷について考察する。

第2小単元（2・3時）

「〇〇駅北側の広大な空き地について、自治体はどのような考えを持っているのだろうか」
・聞き取り調査の手法について理解する。

第3小単元（4・5時）

「△△市の開発計画は、妥当だろうか」
・聞き取り調査で把握した自治体の開発計画の妥当性を、持続可能な地域づくりに着目して考察する。

第4小単元（6時）

「△△市の課題を解決するために〇〇駅北側の空き地をどのように土地利用すべきだろうか」
・生活圏内と生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりに着目して、対象となっている土地の望ましい土地利用について構想する。

■小単元の概要

「今昔マップ on the web」で旧版地形図と比較したり、国土地理院の「地図・空中写真閲覧サービス」から空中写真を閲覧したりして、対象の土地利用の変遷を調べ、その変遷の歴史的・地理的背景について考察する。

地域の開発計画などについて、自治体に対する質問事項を整理したシートをグループで作成する。その後、聞き取り調査を実施して、自治体の開発計画を把握する。

ウェブGISである「jSTAT MAP」のバッファリングなどの空間分析機能を用いながら、自治体の開発計画の妥当性についてグループで考察する。

対象土地の望ましい土地利用について構想し、実現した際に想定される影響を、「OneNote」を用いてフロー図を作成し多面的・多角的に考察する。また他グループの意見を参考に、考察・構想したことを深める。

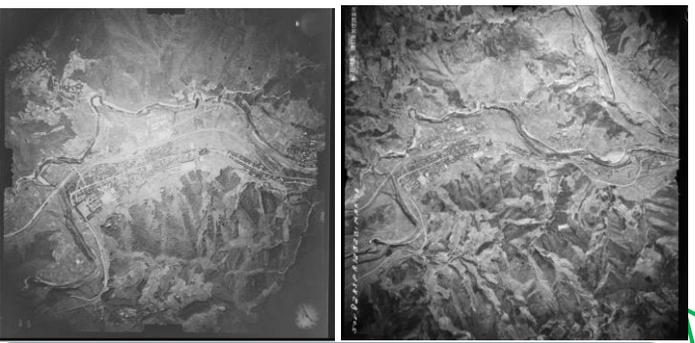
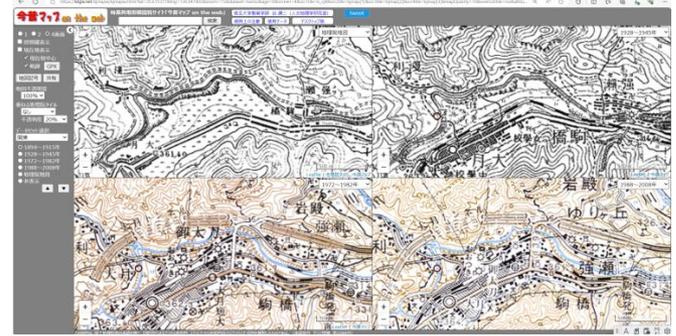
■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（第1小単元）

【学習活動の場面】

駅に近接した大規模空き地の写真を見て、生徒Aのグループは、「なぜ駅に近い場所なのに空き地なのか」という問いをスプレッドシートに記入した。その問いを解決するために「空き地になるまではどのような土地利用だったのか」という土地利用の変遷に関する小さい問いを設定し、解決に向けて歴史的・地理的背景について考察した。

【生徒の「深い学び」の姿】

生徒は、これまでの学習を通して習得した情報を収集する技能などの課題を追究する手法に加えて、歴史的・地理的背景について探究する新たな手法を習得した。



生徒Aは、「自然環境と防災」の単元で活用した「今昔マップon the web」の旧版地形図から、空き地になる以前は工場があったことを読み取った。さらにそれ以前は農地であったことがわかったが、いつ農地から工場が建設され土地利用が変わったかは特定できなかった。

生徒Aは教師の助言から、国土地理院のウェブサイトで過去の空中写真が閲覧できることを知り、第二次大戦前後の空中写真を閲覧した。その結果、1943年に大きな建物が立地していることを知った。生徒Aは、地域の郷土資料館に問い合わせ、軍需工場であったことを知り、さらに「なぜこの場所に軍需工場ができたのか」という新たな問いを抱いた。

■指導上の工夫とICTの利活用

①各グループの考えが示されたスプレッドシートをモニターに投影し、考えたことを全体で共有する。
*各グループが入力した問いを複数取り上げ、どのような見方・考え方に基づくか解説する。また、「なぜ~だろうか」という大きな問いに取り組むための手法についても考えるよう導く。

②それまでの学習を振り返り、目的に応じて時代や縮尺を変更しながら土地利用の変遷を調べる。
*教師は机間指導をして、「過去の〇〇の授業のときにどの資料を使ったのか」など、過去を振り返るよう助言する。

③生徒が主体的に課題を探究するよう支援する。
*各生徒の進捗状況を観察し、生徒が調べた結果から自ら新たな問いを持てるよう必要に応じて支援する。

【当該指導での「深い学び」】

地理的な課題の解決に取り組む過程で、生徒が主体的に考察する活動を通して、歴史的・地理的背景を探究する新たな問いを見いだすことができた。なお、その問いを解決するために、既に習得した追究の手法を踏まえ、ウェブサイトを活用した新たな手法を習得し、探究する手法を理解することができた。その結果として、さらに新たな問いを抱き、継続的な探究へつながった。

【活用したソフトや機能】 今昔マップon the web 国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第2章 各学科に共通する各教科 第2節 地理歴史 第1 地理総合

2 内容

C 持続可能な地域づくりと私たち

(2)生活圏の調査と地域の展望

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や**探究する手法など**について理解すること。

3 内容の取扱い

(1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。

イ 地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真の読み取りなど地理的スキルを身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に指導すること。その際、教科用図書「地図」を十分に活用するとともに、**地図や統計などの地理情報の収集・分析には、地理情報システムや情報通信ネットワークなどの活用を工夫すること。**

参考：今昔マップ on the web と 地理院地図操作方法

① 今昔マップ on the web トップ画面



②



③



① 国土地理院 トップ画面



②



③ ②で選択した写真を閲覧できる

